

森之宮記者クラブ、近畿建設記者クラブ会員各位
(同時提供先：大阪経済記者クラブ)

大阪商工会議所×UR 都市機構 まちなかりビングラボプロジェクト

大阪城東部地区(UR 森之宮団地等)における実証実験

「街ナカを美術館にする AR アート作品展示による 地域のにぎわい創出」の実証実験を開始

【お問合せ先】

■大阪商工会議所 産業部 産業・技術振興担当(瀧本、門、西田)

TEL:06-6944-6300

■独立行政法人都市再生機構 西日本支社

都市再生業務部 事業企画課(壽賀、谷内、柏井、中山)

TEL:06-4799-1172

- **株式会社テクノサポートデザイン** (代表取締役社長=橋本治之、本社：大阪市北区、以下、テクノサポートデザイン) は、**AR (Augmented Reality: 拡張現実) 技術を活用した「街ナカを美術館にする AR アート作品展示による地域のにぎわい創出」の実証実験**を実施する。同実証実験は、大阪商工会議所と UR 都市機構が公募した大阪城東部地区にある UR 森之宮団地、UR 森之宮第 2 団地を活用した実証実験に採択された事業の一つ。
- 同実証実験では、大阪市立デザイン教育研究所と大阪府立工芸高校の学生から作品制作の協力を得、UR 森之宮団地、UR 森之宮第 2 団地の住民が持つスマートフォンを使用して、AR アート作品を鑑賞できる仕組み「AR 美術館」を UR 森之宮団地と UR 森之宮第 2 団地内に構築する。
- UR 森之宮団地、UR 森之宮第 2 団地の約 10 か所に AR アート作品を展示し、団地住民を対象に AR アート作品の展示会の需要調査や高齢者の利用可能性、地域コミュニケーション活性化への効果などを検証する。実証期間は、2024年11月3日(日)から11月10日(日)まで。
- テクノサポートデザインは、同実証実験をはじめ、今後も様々な場面で AR アート作品展示を継続的に実施し、その可能性と需要を探っていく。これらの取り組みから得られる結果を踏まえ、**新しい文化体験の創出をはじめ、AR アートアーティストのプラットフォーム構築や AR 空間内での広告展開の実現などをめざす。**

【実証実験の概要】

1. **実施期間**：2024年11月3日(日)から11月10日(日)まで
2. **実施場所**：UR 森之宮団地および UR 森之宮第 2 団地 (大阪市城東区森之宮)
3. **実施主体**：株式会社テクノサポートデザイン
代表取締役社長 橋本 治之
本社：大阪市北区天神橋 3-6-5 ベルニーニ南森町 708 号

■実証実験の目的

AR 技術を活用した AR アート作品の鑑賞はまだまだ一般的ではないが、スマートフォンを活用して、どのような場所でも美術館・博物館と同じように気軽に AR アート作品を鑑賞できるなど、地域の賑わい創出の観点からも大きな可能性を秘めている。他方、AR アートの制作コストは高止まりしており、継続可能な仕組み作りが重要となっている。そこで、同実証実験では、無料アプリケーション使用し、大阪市立デザイン教育研究所と大阪府立工芸高校の学生にテクノサポートデザインが作成した AR 作成マニュアルを提供することで、スピード感と制作コストの低減を両立させた AR 美術館を構築し、こうした AR アート作品を鑑賞する需要や持続可能性を検証する。特に、デジタルに親和性の高い若者層だけでなく、高齢者を含む幅広い層での需要を探る。また、AR 美術館が高齢者の健康促進や地域コミュニティの活性化、作品制作者・アーティストの活躍の場としても機能し得るか、その多面的な可能性も検証する。

■実証内容

UR 森之宮団地と UR 森之宮第 2 団地内の約 10 箇所に AR アート作品を展示する。団地住民は専用の QR コードを読み取ることで、スマートフォンを通じて AR アート作品を鑑賞できる。作品は大阪市立デザイン教育研究所と大阪府立工芸高校の学生とテクノサポートデザインが制作し、各団地合わせて、合計約 100 点のアート作品を様々な展示形態で AR にて表現する。

同実証実験では、AR アート作品への需要をアクセス数の計測により調査するほか、アーティスト作品の購買につながる可能性、AR 空間を活用した広告モデルの可能性、高齢者の AR アート鑑賞体験と健康促進効果、団地内コミュニケーション活性化への貢献度などを総合的に検証する。



▲同実証実験で鑑賞できる AR アート作品の一部

■今後の展望

テクノサポートデザインは、同実証実験をはじめ、今後も様々な場面で AR アート作品展示を継続的に実施し、その可能性と需要を探っていく。これらの取り組みから得られる結果を踏まえ、AR アートアーティストのプラットフォーム構築や AR 空間内での広告展開の実現、Web3.0 との連携をめざす。AR 美術館によって、新しい文化体験の創出をはじめ、クリエイターの活躍の場の提供による新たな雇用創出や、地域の活性化に寄与することが期待される。

(参考) ◆大阪城東部地区 (UR 森之宮団地等) における実証実験の公募について

大商と UR 都市機構は共同で、2024 年 3 月 26 日～5 月 10 日まで、将来の大阪の「ヒガシの拠点」として注目を集める大阪城東部地区にある UR 都市機構旧森之宮庁舎、UR 森之宮団地、UR 森之宮第 2 団地を活用した実証実験を募集した。多様な人々が共存する UR 森之宮団地等で、「あたらしい関係や交流の形成」を促進し、「あたらしい価値の創出」を目的に先端技術を活用した実証実験の公募を行い、14 件を実証実験実施候補として採択した。採択後、実施を辞退した 2 件を除く 12 件について、2024 年度内に実証実験を実施する。

【実証実験公募採択時のプレスリリース、2024 年 6 月 28 日】

https://www.osaka.cci.or.jp/Chousa_Kenkyuu_Iken/press/20240628UR14.pdf